

受付ID	団体名	主な活動地域	事業名	申請区分	実施期間 始まり	実施期間 終わり	事業実施場所	対象者等	事業概要	助成決定額
36	社会福祉法人大東市社会福祉協議会	大東市内全域	ICTを活用した新たな地域づくり	民間団体提案型	R5.4.1	R6.3.31	大東市立総合福祉センター	民生委員児童委員、校区(地区)福祉委員長、お茶のみ休憩所(まちかどサロン事業)運営委員	この数年間で経験したように、人々が集まることができない状況にあっても「つながる」ことが途切れないよう、歩みを止めないようにタブレット端末を利用したオンライン会議、研修会、資料や予定表の共有・SNSの利用を行うことで、集まらなくても事業が止まらない仕組みを整えます。さらにSNSやICTを活用した情報発信、情報共有を推進し、離れていても心のつながりを維持していく取り組みを実施します。「つながる」ことを続けられる仕組みを作るため、まずは関係団体からICT活用の基盤づくりを進めたいと考えています。〈事業内容〉①タブレット端末の導入②使い方についての講習会の開催③各団体の拠点をオンラインでつなぎ、交流会や動画配信を実施	4,438,000
37	社会福祉法人河内長野市社会福祉協議会	河内長野市内	ICTを活用した民生委員児童委員の担い手確保事業	民間団体提案型	R5.6.1	R6.3.31	イズミヤゆいテラス河内長野	河内長野市民生委員児童委員協議会	河内長野市社会福祉協議会が事務局を担っている民児協では、R4.12月改選後定数178人に対して157人と充足率88.2%と低く、長らく担い手のない地域や選任後の引継ぎ者のない地域がある状況。民生委員、児童委員の確保は急務であり、そのためR4.11月から協力員制度を立ち上げ、負担軽減に取り組んでいる。働きながら民生委員・児童委員が活動できる環境づくりを進めるため、ICTによるアプローチをR4年度より地区委員長の間で着手している。更に発展させ、ペーパーレス化や研修や会議のオンライン化による効率化や負担軽減を目的に活動を進める民児協を後方支援する。	4,995,000
38	社会福祉法人八尾市社会福祉協議会	八尾市内全域	民生委員活動へのICTの導入	民間団体提案型	R5.4.1	R6.3.31	八尾市立社会福祉会館	八尾市民生委員児童委員協議会の役員など19人、八尾市民生委員児童委員のうち、主任児童委員28人、同全員412人	A.役員相互の連絡調整と事務局との連絡の円滑化を進めるためにLINEのアプリの導入による情報共有の円滑化。B.部会の欠席者を減らし、意思疎通を円滑に進めるためにzoomを導入し、ハイブリッド型会議の強化。C.現在作成中のホームページ充実による書類共有のオンライン化。A～Cを進めるために民生委員全員のネットリテラシーの強化に向けた研修の実施。	1,175,000
39	社会福祉法人貝塚市社会福祉協議会	貝塚市	民生委員・児童委員協議会へのICT導入事業	民間団体提案型	R5.4.1	R6.3.31	貝塚市民生委員・児童委員協議会事務局	民生委員	民生委員・児童委員はR4.12月に一斉改選があり、貝塚市では148名に対し、115名の委嘱で委嘱率は77.7%であり、担い手不足への取り組みは喫緊の課題となっており、その一因として委員活動の負担が大きいことが言われている。そこで、タブレットを活用し、web会議ソフトによるオンライン会議の開催、メールソフトなどを活用した委員間の情報共有を進めることで、民生委員同士の連携強化を図るとともに、ネットブラウザなどを活用した情報収集や情報処理により委員活動の効率化、負担軽減を図る。	5,000,000
40	特定非営利活動法人アートコミュニティ	河内長野市	アートを取り入れた子どもの居場所と子どもの非認知力を高める事業	民間団体提案型	R5.4.1	R6.3.31	ヒーロー研究室	5歳から12歳までの子供たち、子育て中の親、河内長野市三日市地区、イベントは市内小学校にチラシ配布、SNS発信	放課後、子どものための施設があるが、有料であったり手続きが必要であり、その保護を受けられない子どもたちが数多くいる。行き場の少ない河内長野三日市地区の子供たちに緩やかな見守りがある中、絵や工作、カードゲームなどで心をほぐし、自己を確認できることを目的とし、居場所づくりを実施している。子ども達には学力など認知能力以外に音楽や美術全般、自然体験学習など人格を育てる非認知能力を高める必要がある。楽しみながらこれらの体験ができるようプログラム化された無料の講座を新たに開設し、今実施している子どもの居場所を継続することを目的とする。	2,914,000
41	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会	大阪府内全域(政令市を除く)	福祉への理解を深める(福祉教育)ツール作成・理解促進事業	民間団体提案型	R5.4.1	R6.3.31	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会	介護体験学習に参加する学生(教員資格取得を目指す学生)、教師や保護者など小中高校生の身近な大人	福祉や介護の現場の正しい情報を伝え、ネガティブな印象の転換を促し、直接利用者やそこで働く職員と触れ合える機会を有意義なものとするため、介護等体験事業に参加する学生向けの事前学習動画を作る。・保護者や教師に対し、介護の仕事の魅力に触れたり正しい知識を得てもらう機会(動画)を作る。	5,000,000

受付ID	団体名	主な活動地域	事業名	申請区分	実施期間 始まり	実施期間 終わり	事業実施場所	対象者等	事業概要	助成決定額
42	社会福祉法人茨木市社会福祉協議会	茨木市全域	IBARAKIコミュニティ・カーシェアリング	民間団体提案型	R5.4.1	R6.3.31	社会福祉法人茨木市社会福祉協議会	地域住民全般、子どもとその保護者、高齢者、障がい者、児等	令和3・4年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金地域福祉推進助成金その他事業「ウィズコロナ、ポストコロナに対応した地域モデルの開発」を活用し、社会福祉協議会が確保した車両を地区福祉委員会で共有し、各地区でオリジナリティあふれる事業を実施することで、今まで着手することができなかった地域課題、個別ニーズに対しての活動を、地区福祉委員会同士が話し合いながら展開することができた。これまで実施してきた事業を基軸に、専門職や各団体、企業と地域住民が協働する仕組み（包括的支援体制）を構築し、新たな地域課題を解決できる体制を創出する。	2,000,000
43	社会福祉法人大阪ボランティア協会	大阪府内及び関西圏	「インクルーシブボランティア」のコーディネートモデル構築事業～誰もが参加できるボランティア活動の支援体制づくりに向けた教材開発及びネットワーク構築～	民間団体提案型	R5.4.1	R6.3.31	市民活動スクエア「CANVAS谷町」（社会福祉法人大阪ボランティア協会事務所）	受益者はボランティア活動や地域活動に参加したい気持ちがあるが、人との関係が作りにくい、社会参加に繋がりにくい人。対象者はボランティアセンターなどをはじめとする住民の支え合いをつなぐ専門職。福祉施設や公共機関におけるボランティア受け入れ担当者、NPOや地域組織のリーダー、障害がある当事者の自助グループなどの立ち上げを支援する関係機関のスタッフ。	「誰もが参加できるボランティア活動」の環境整備を進めるため、「参加」を支える専門職や市民を対象に、現場での対応力や心得、プログラムの開発のヒントを得られる機会を作り、現場のコーディネーターや専門職との協働で「インクルーシブボランティア活動」を推奨するコーディネーションのあり方とノウハウを整理する。助成事業2年目にあたる今回は前年度に行った調査並びに啓発パンフレットを生かしながら、中核人材の養成に向けた新たなハンドブックを作成する。またそのプロセスにおいて、現場のコーディネーター同士のネットワーク構築、発達障がいや精神障がいがある人への対応における精神保健福祉分野の専門職との連携の基盤づくりを行う。	5,000,000
44	一般社団法人よりそいネットおおさか	大阪府全域	福祉と運動する更生支援を通じた地域共生社会の実現	民間団体提案型	R5.6.1	R6.3.31	一般社団法人よりそいネットおおさか	・被疑者、被告人段階（入口支援）にある障がい者、高齢者等・上記をサポートする福祉サービス関係者、弁護士、その他司法福祉に関する支援者	本事業は被告人段階にある特に高齢者や障がい者（以下、入口支援）が、拘留所に勾留されることで、外界との交流が遮断され、地域へ移行することが困難なる状況を補うツールを開発と支援力強化を構築するためのものである。本人が犯罪行為や法に触れるような行動に目を向け、新たな生活に踏み出せるように気持ちを整えるためのツールを開発、さらに、弁護士活動の一環として福祉的支援を行う中で活用されている計画書（以下、更生支援計画書）の内容についてもシームレスな地域移行ができるよう改良を試みる。罪に問われた高齢者や障がい者が拘留所や刑務所に入所したとしても、再び地域共生社会の一員として主体性・役割のある生活ができるような体制構築を目指していきたい。	5,000,000
45	NPO法人CLACK	大阪：新大阪、堺、京橋 東京：五反田	大阪府南部の困難を抱える高校生へのプログラミング学習支援	民間団体提案型	R5.4.1	R6.3.31	梅町公園集会所	生活困窮、ひとり親などの経済的困窮、不登校、いじめを受けた経験、外国ルーツ、発達障がいなどの困難を抱える大阪府南部の高校生	3ヶ月間のプログラミング学習を年3回実施し、合計45人（1期15人×3ターム）の高校生に提供する。体験会では年90人の高校生にITを体験する機会を提供する。また、企業訪問や奨学金・生活費用・進学に関するキャリア教育や講師の大学生や社会人エンジニアと接することで、これまで不足している経験や社会との繋がりを持つことも目指す。	5,000,000
46	一般社団法人こどもの居場所サポートおおさか	大阪市及び府下の自治体	大阪府こども食堂サポートセンター推進事業	民間団体提案型	R5.4.1	R6.3.31	こどもの居場所サポートおおさか	こども食堂等の活動団体、こども、子育て家庭、関係者、一般市民	こどもや家庭を支援するこども食堂等に対する中間支援活動を実施する。フードバンク機能とソーシャルワーク機能の両面から支援することで、こども食堂等が安心して活動を継続でき、こどもたちにとってのよりよいきっかけ作りの一助となるように働きかける。これまでモデル的に実施してきた活動範囲を大阪府全域に広げ、各地のネットワーク関係機関とも連携、協働する。	4,700,000
交付決定団体【計11件】										45,222,000